

電気通信大学燃料電池・水素イノベーション研究センター規程

制定 令和7年3月18日規程第37号

(設置)

第1条 電気通信大学（以下「本学」という。）に、燃料電池・水素イノベーション研究センター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、放射光ビームライン及びミュオンビームラインを用いて、燃料電池内で起こる複雑現象を多元的視点で計測解析し、オペランド可視化できるマルチモード同時系列計測評価システムにより理論解析情報を合わせ、燃料電池性能に関係するメカニズムを解明して、高活性かつ高耐久性燃料電池触媒開発の具体的指針を提示することにより、次世代燃料電池自動車、大型商用車の普及、大幅な市場拡大等に貢献することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 大型放散光施設（S P r i n g - 8）等放射光ビームラインでの研究・教育に関すること。
- (2) 大強度陽子加速器施設（J P A R C）ミュオンビームラインでの研究・教育に関すること。
- (3) 燃料電池計測評価手法の高度化とオペランド研究・教育に関すること。
- (4) 水素社会・カーボンニュートラルモビリティ社会の啓発に関すること。
- (5) その他前条の目的を達成するために必要なこと。

(職員)

第4条 センターに、センター長を置く。

- 2 センターに、教授、准教授又は助教（以下「センター専任教員」という。）を置くことができる。
- 3 センターに、本学の教授、准教授又は助教のうちから、センター専任教員と同等の研究活動を行うものを兼務教員として置くことができる。
- 4 センターに、特任教員又は客員教員を置くことができる。
- 5 センターに、前各項に掲げる者のほか、研究員等その他の必要な職員を置くことができる。

(センター長)

第5条 センター長は、本学の理事又は職員のうちから、学長が指名する。

- 2 センター長は、センターの業務を掌理する。
- 3 センター長の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第6条 学長が必要と認めるときは、センターに副センター長を置き、本学の職員のうちからセンター長が指名する。

- 2 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故があるときは、その職務を代行するものとする。
- 3 副センター長の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 前項の規定にかかわらず、副センター長の任期の末日は、センター長の任期の末日以前でなければならない。

(専任教員等)

第7条 センター専任教員及び兼務教員の配置については、別に定めるところによる。

(運営会議)

第8条 次の各号に掲げる事項を審議するため、センターに、運営会議を置く。

- (1) センターの管理運営の基本方針に関すること。
 - (2) センターにおける教育及び研究計画の基本方針に関すること。
 - (3) センターの構成員に関すること。
 - (4) その他センターの円滑な運営を図るための重要事項に関すること。
- 2 運営会議は、次の各号に掲げる者をもって構成する。
 - (1) センター長
 - (2) 学長が指名する理事又は職員
 - (3) その他運営会議が必要と認めた者
 - 3 センター専任教員(教授及び准教授に限る。)、兼務教員(教授及び准教授に限る。)又は副センター長が置かれているときは、それぞれ運営会議の構成員に加えるものとする。
 - 4 第2項第2号に掲げる者の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 5 第2項第3号に掲げる者の任期は、運営会議がその都度定める。
 - 6 運営会議に議長を置き、センター長をもって充てる。
 - 7 議長は、審議事項を定めて、会議を招集するものとする。
 - 8 議長に事故あるときは、議長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
 - 9 運営会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。
 - 10 運営会議が必要と認めたときは、構成員以外の者を運営会議に出席させ、意見を聴くことができる。
 - 11 前各項のほか、運営会議の議事に関し必要な事項は、運営会議が定める。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営会議の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。